

あたらしいを、あたりまえに

J:COM



News Release

2024 年 6 月 10 日  
JCOM 株式会社

## — 地方大会で躍動する球児たちをテレビで応援 — 夏の高校野球大会 14 都道府県 15 大会 260 試合以上を「J:COM チャンネル」で生中継



J:COM チャンネル  
夏の高校野球地方大会 生中継

JCOM 株式会社(J:COM、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:岩木 陽一)は、2024 年夏に各都道府県で行われる高校野球地方大会において、北海道大会、宮城大会、茨城大会、千葉大会、埼玉大会、東・西東京大会、神奈川大会、京都大会、大阪大会、兵庫大会、山口大会、福岡大会、熊本大会、大分大会の計 260 試合以上を、各地域のコミュニティチャンネル「J:COM チャンネル」で 2024 年 7 月 6 日(土)より順次生中継します。

J:COMは「スポーツみるならJ:COM」を掲げて、プロスポーツをはじめ、学童試合やアマチュア競技などさまざまなスポーツを放送しています。今年の高校野球地方大会の放送では「その全てが、感動の瞬間に」をコンセプトに、球児たちの日頃の活動の集大成となる試合を、初戦から最大準決勝まで、生中継による迫力ある映像と臨場感あふれる実況・解説で、地域の皆さまにお届けします<sup>※</sup>。また、高校野球 生中継に関する番組特設サイトを開設し、各大会の放送情報などを発信。一部エリアでは、応援メッセージの受付や公式SNSを活用した番組スタッフのつぶやきなど、視聴者の皆さまにご参加いただける企画もご用意しています。

<sup>※</sup>エリアにより試合数・放送内容は異なります

J:COM は、地域に根差す企業として、地域とスポーツのそばに寄り添える存在でありたいと、番組放送をはじめ、スポーツ大会の主催・共催や教室の開催などを通じて、地域のスポーツ活動を支援しています。学童野球から高校野球、そしてプロ野球へ。J:COM は地域のケーブルテレビとして、球児たちが青春をかける瞬間の姿を地域の皆さまとともに応援し、熱い夏の思い出と感動を提供してまいります。

<放送概要>

<p>放送大会</p>	<p>&lt;全 15 大会&gt;            第 106 回全国高等学校野球選手権北海道大会            第 106 回全国高等学校野球選手権宮城大会            第 106 回全国高等学校野球選手権茨城大会            第 106 回全国高等学校野球選手権千葉大会            第 106 回全国高等学校野球選手権埼玉大会            第 106 回全国高等学校野球選手権大会東東京大会            第 106 回全国高等学校野球選手権大会西東京大会            第 106 回全国高等学校野球選手権神奈川大会            第 106 回全国高等学校野球選手権京都大会            第 106 回全国高等学校野球選手権大阪大会            第 106 回全国高等学校野球選手権兵庫大会            第 106 回全国高等学校野球選手権山口大会            第 106 回全国高等学校野球選手権福岡大会            第 106 回全国高等学校野球選手権熊本大会            第 106 回全国高等学校野球選手権大分大会            ※大会名称は各地の高等学校野球連盟の表記に準じています            ※各大会の中継内容、放送期間は異なります。詳細は、WEB サイトからご確認ください</p>
<p>中継放送期間</p>	<p>2024 年 7 月 6 日(土)より、各地域で順次生中継            ※雨天順延などの場合は、変更になる場合があります            ※各地方大会の日程詳細は、WEB サイトからご確認ください</p>
<p>放送チャンネル</p>	<p>各地域の「J:COM チャンネル」            チャンネル番号: 全て地上デジタル 札幌・仙台・関東・関西・福岡・大分エリア: 11ch、            下関エリア: 12ch、熊本エリア: 10ch            ※「J:COM」の有料サービスの加入・未加入を問わず、「J:COM」のネットワークが接続されている建物にお住まいであれば、無料でご視聴いただけます</p>
<p>視聴可能エリア</p>	<p>各地域の J:COM サービスエリア            《視聴可能エリアを確認するには》  <a href="https://www.jcom.co.jp/area_search/">https://www.jcom.co.jp/area_search/</a>            ※サービスエリア内でも一部ご視聴いただけない地域がございます</p>
<p>WEB サイト</p>	<p>J:COM 夏の高校野球 番組特設ページ  <a href="https://www2.myjcom.jp/special/tv/sports/baseball/highschool/sensyuken_chihou/">https://www2.myjcom.jp/special/tv/sports/baseball/highschool/sensyuken_chihou/</a></p>

**J:COM のサステナビリティ**

J:COM では、事業活動を通じたサステナビリティ経営を推進しています。お客さまの豊かな「暮らし」を支える企業として、持続的な「地域社会」へ貢献を行い、その土台である「地球環境」と関わるすべての「人」を対象として、4 つのマテリアリティと、さらに具体化した 12 のサブマテリアリティを 2023 年度に再設定しました。

<本事業と関連するマテリアリティ>

マテリアリティ:「安心安全で持続可能な地域社会への貢献」 サブマテリアリティ:「次世代のチャレンジ支援」



私たちは企業理念を実現するための大切な価値観に「CHALLENGE(挑戦)」を掲げています。未来を担う次世代の教育・文化・スポーツなど多岐に渡る分野での挑戦を支援し、地域社会の活性化に貢献していきます。

**J:COM チャンネルについて**

「J:COM チャンネル」は、地域のイベントや行政情報、安全・安心に役立つ防災情報など地域に根差したコンテンツ満載の オリジナルチャンネルです。地域密着のニュース番組等を通じて行政の動きや街の出来事を取り上げ、地域の今を伝えます。また台風や地震などの災害時には地域に必要な情報を即座に発信します。その他、地域イベント・スポーツ大会の生中継など徹底的に地域にこだわったチャンネルです。

(チャンネル番号: 全て地上デジタル 札幌・仙台・関東・関西・福岡・大分エリア: 11ch、下関エリア: 12ch、熊本エリア: 10ch)

**JCOM 株式会社 [www.jcom.co.jp/](http://www.jcom.co.jp/)**

JCOM 株式会社(ブランド名 J:COM、本社: 東京都千代田区)は、1995 年に設立された国内最大手のケーブルテレビ事業・番組供給事業統括運営会社です。ケーブルテレビ事業は、札幌、仙台、関東、関西、九州・山口エリアの 11 社 65 局を通じて約 568 万世帯のお客さまにケーブルテレビ、高速インターネット接続、電話、モバイル、電気、ホーム IoT 等のサービスを提供しています。ホームパス世帯(敷設工事が済み、いつでも加入いただける世帯)は約 2,242 万世帯です。番組供給事業においては、14 の専門チャンネルに出資及び運営を行い、ケーブルテレビ、衛星放送、IP マルチキャスト放送等への番組供給を中心としたコンテンツ事業を統括しています。

※世帯数は 2024 年 3 月末現在の数字です。